

小袖によせて

かわかみ しげき
河上 繁樹

関西学院大学教授

1981年関西学院大学大学院文学研究科(美学専攻)修士課程修了。

1981年より文化庁美術工芸課へ勤務、

1990年京都国立博物館工芸室員、

1991年学芸課主任研究官、

1999年学芸課工芸室室長を経て2001年より現職。

専門は日本染織史。

著書・論文に『舞楽装束』(至文堂)、『織りと染めの歴史日本編』(昭和堂)、『南宋絹織物にみる二、三の特色について』(『MUSEUM』464号、東京国立博物館編)

『豊臣秀吉の日本国王冊封に関する冠服について』(『学叢』20号、京都国立博物館編)などがある。



はじめに

現在(1999年11月) 京都国立博物館では『花洛のモード きものの時代』特別展覧会を開催しています。この展覧会では、桃山時代から江戸時代を通じて服飾の中心となった小袖に焦点をあて、当時、ファッションの発信地であった京都で人々がなにを装い、どのような美を求めたのかを探ろうとしています。展示は11の小テーマにわけて、桃山時代から幕末にいたるさまざまな小袖の意匠や技法の変遷がわかるように構成されています。

この定期研修会では、特別展にちなみ、小袖意匠の変遷とその技法についてみていきたいと思えます。小袖は、装潢の仕事とは直接に関係するところは少ないかと思えますが、特殊なケースでは「瑞泉寺裂」のように表具に小袖裂が使用されている例がいくつか知られています。そうした例を含めて、^{からおり}唐織・^{ぬいはく}繡箔・辻が花・慶長裂・友禅染など、その文様や染織技法が小袖の歴史のなかでどのように位置づけられるかをみていくことにします。

小袖の歴史は古く、平安時代末まで遡りますが、実際に遺品として残っている小袖は室町時代末以降のもので、もともと小袖は、公家や武家が下着として着ていたものですが、次第に表着化して桃山時代(16世紀)には男女とも着用するようになります。同時に、さまざまな意匠が生まれました。小袖は人が身につけるものですから、人の好みやその人の生きた社会や時代の好みも端的に表れるのです。そして、小袖の意匠は、その時代特有の染織技術で表現されます。

表具と小袖裂

小袖に用いられている染織品は、小袖のデザインを目的につくられているのですが、それを表具裂に利用する場合があります。もともと異なった目的でつくられた染織品を表具に使用しますが、それは小袖裂に特別の

由来があって本紙とのかかわりの深い場合にあって表具裂に使うことがあります。たとえば、図1の「瑞泉寺裂」は、豊臣秀次(1568～1595)を祀る瑞泉寺に伝わる掛幅の表具で、三条河原で斬殺された秀次の妻妾たちが着ていた小袖を表具に使ったといわれています。本紙は妻妾たちが首をきられる前に詠んだ辞世の句ですから、それにあわせて妻妾たちの小袖を表具裂に使ったというのです。もっとも、この表具裂は一部に秀次の時代よりもずっとあとの小袖裂が使われているため、必ずしも伝承どおりではありません。

別の例としては、表具裂を本紙の時代にあわせて雰囲気をつくろうとする場合があります。図2の「太鼓打ち童子像」は、桃山時代に描かれた絵画ですので、同じく桃山時代の辻が花裂を表具にとりあわせています。この辻が花裂は、右上の一部に少し継ぎがある以外はすべて1枚通しで、文様は上から順番に松皮菱、椿と藤、そして禪のモチーフが交互に繰り返されています。この表具裂は、もともと段替の意匠の小袖でした。このような辻が花裂と桃山時代の絵画をとりあわせた表具例がありますが、これは辻が花染がもてはやされるようになる近代以降の表具であると推定されます。

表具に使用される小袖裂はある程度限定されます。本紙と表具裂にいわれがあるような場合を除けば、本紙と表具裂のバランスや調和が重要になります。そのため、どんな小袖裂でも使えるというわけではありません。小袖は、当たり前のことですが着物のかたちを前提にデザインされています。全体があって初めてデザインが生きるようになっているため、小袖の一部を表具裂として使用する場合、文様のとりかたで生きるとそうでない場合が生じます。辻が花染のようなものは、文様の大きさが適当であれば、とりあわせやすいでしょうが、寛文小袖は大柄で、これを表具に使ってもデザインはほとんど生かされません。また、友禅染の小袖は、友禅染そのものが絵画的で華やかすぎて本紙と調和させるのが難しくなります。



図1 瑞泉寺裂

瑞泉寺蔵

桃山時代の小袖にみる染織技法

それでは、話を小袖にもどして時代順にみていくことにしましょう。

桃山時代に小袖が表着化しますが、中世までは染物よりも織物のほうが格が高く、染物は身分の低い者が着るという考えがありました。そのような考えが桃山時代に崩れて、辻が花のような染物がさかんになるのです。